



平成29年2月13日

苫小牧市長 岩 倉 博 文 様

苫小牧市特別職議員報酬等審議会
会 長 松 本 紘 昌

農地利用最適化推進委員の報酬額について（答申）

平成29年2月6日付け苫給厚第7号で諮問のありましたこのこと
について、別紙のとおり答申します。

答 申

農地利用最適化推進委員の報酬額は、33,000円に設定することが妥当である。

答申に至った経緯

農業委員会法の改正に伴い新設された農地利用最適化推進委員の報酬額について、苫小牧市長から諮問を受け、職務内容や報酬水準の妥当性について、法改正後の道内他都市の動向などにも配慮しながら、活発な意見交換と慎重な審議を行いました。

この結果、農地利用最適化推進委員の報酬額については、既存の農業委員と同等の職責、職務に応じた金額とすべきであるとの認識に立ち、全委員の一致した意見をもって答申するものです。

なお、農地利用最適化推進委員の報酬額を33,000円に設定することが妥当であるとの結論に至った主な理由は、次のとおりです。

答 申 理 由

- (1) 農業委員会法の改正により、農地等利用の最適化に関する業務が必須業務として法定化され、農地利用最適化推進委員が新設されることになったが、委員定数について、既存の農業委員が13名だったところ、農業委員7名、農地利用最適化推進委員6名に変更され、農業委員会の定数としては、人数に変更がないこと。

- (2) 既存の農業委員が、合議体として審議決定することが主体であるのに対して、農地利用最適化推進委員は、担当地域において、現場活動を行うことが主体であり、業務の主体が異なってはいるものの、2つの委員が連携を取り合い業務を行っていくことから、合議の過程として総会の出席等が想定され、概ね既存の農業委員と同様の業務量であることが見込まれること。

苫小牧市特別職議員報酬等審議会審議経過

第1回審議会

平成29年2月6日（月）午後1時30分

苫小牧市役所 9階第1委員会室

- 会議内容
- 1 委嘱状交付
 - 2 副市長挨拶
 - 3 諮問
 - 4 審議

第2回審議会

平成29年2月13日（月）午後5時00分

苫小牧市役所 5階第1応接室

- 会議内容
- 1 市長へ答申書の提出